

課題研究基礎 授業進行表 3回目

テーマ： 議論技術 1

目的： 良い議論を行うため、アイデアを拡張する力を育成する。

方法： 個人のアイデアから集団でアイデアまとめあげる。

配布物： ワークシート（人数分）、ノート型ホワイトボード（班数分）、ポストイット

留意点： クリエイトラボで授業を実施する。5人8班で机に座る。配付物は、事前に机の中央においておく。プロジェクト準備は事前に行っておく。

時間	内容・授業進行	留意事項	PP
2分	座席指示 出席確認	・座席は担当者の裁量で班分けする	1
1分	本日の課題 ①なぜ議論が必要なのか? ②アイデアはどのように拡張させるのか? 本時の流れ	・本日の課題と流れを説明する	2 3
4分	議論について ・良くない議論進行について具体例を通して理解する ・スムーズな議論をイメージで理解する 議論とは ・個人活動の限界と集団活動の可能性を理解する ・研究の進行と議論の関係を理解する	・議論なく多数決のみで決定する ・意見が出すぎてまとまらない ・何が良い議論かを明確にする ・特に Plan での議論の「質」が研究全体の「質」に直結する	4 5 6 7 8
2分	Plan の流れ ・キーワードを紐解き、イメージで理解する	・拡張とは、縦横斜めに三次元で広がるイメージ ・今回の授業で行うのは、縮小まで	9 10
1分	議論実習 ・目的を理解する ・実習全体の流れを確認する		11 12
5分	アイデアの拡張（個人） ・アイデア拡張の流れを理解する ・マインドマップについて理解する 【発問】りんごと聞いてを⇒最初に浮かんだのは何？（言葉ではないはず…） ・イメージをことばに変えて記入する例を観る ・メジャーリーガー大谷翔平の作成した行動のマインドマップを観る ・昨年度（現2年生）探究ノートで作成したマインドマップを見る	・個人から集団へとマインドマップを拡張させる ・色・形・機能・属性・思い出・関連するもの…と広げていく ・「名称」ではなく、「行動」の場合は必要な構成要素（予算・日程・時期・場所…など）が加わる ・具体例を示す	13 14 15 16 17 18 19 20

課題研究基礎 授業進行表 3回目

5分	アイデア拡張実習 1 (5分) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：高校生 みんなの発言からマインドマップを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒から「高校生」から思いついた言葉・内容を聞き、教員が前のホワイトボードに書き込みマインドマップを作成する 	21
10分	アイデア拡張実習 2 (10分) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：文化祭 ワークシートに個人でマインドマップを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> 「文化祭」から思いついた言葉・内容をワークシートに書き込みマインドマップを作成する 	22
5分	アイデアの拡張 (集団) <ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミングのルールを理解する ・プリントから阻害要因を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ルール（判断延期・自由奔放・質より量・結合改善）について説明する 	23
13分	アイデア拡張実習 3 (12分) <ul style="list-style-type: none"> ・班でマインドマップを創る ・ポストイットにワークシートに書き込んだアイデアを書き、共有しながらノート型ホワイトボードに貼り付けていく 	<ul style="list-style-type: none"> ノート型ホワイトボードにアイデアを書いたポストイットを班でどんどん貼り付けながら、さらにアイデアを増やしていく 	24 25 26
2分	次回連絡	<ul style="list-style-type: none"> 次回は今回の続きを、クリエイトラボで行う ホワイトボードノート、ポストイットは残部も含め、机の中央におく 	27

参考資料：トニー・ブザン(2018).「マインドマップ最強の教科書」小学館集英社プロダクション

増田建ほか(2017).「科学の技法 東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト」. 東京大学出版会